

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

R6年度
ビレッジキッズしみず(職員8名)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			利用人数と職員の数を見極めて、部屋分けを行いスペースの確保を図っている
	2	職員の配置数は適切であるか	3	5		職員の男女比が均等でないため、部屋分けや送迎を調整する等、工夫する必要がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5		トイレに手すりがほしい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	2	話し合いの場は設けているが、事故報告やヒヤリハットに対してどの職員も当事者意識をもっていくよう改善していく必要がある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	4		アンケート結果に関して、職員が結果を把握しきれていない。 今までアンケート結果を職員間で共有し話し合う機会をもてていなかった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		ホームページで結果を閲覧することができている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4		今後のためにも第三者による評価は十分に必要性を感じる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		1	職員間の研修を行い、学習の機会が設けられている。事業所内でも職員が研修を担当したり、外部研修への参加の機会も多い。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		アセスメントの情報が更新され切っておらず、古いもので止まっていることがある。 今までニーズの聞き取りや計画の作成は行えているが、現場の職員への引継ぎが適切に行われていないことが多々見受けられている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	2	標準化されたアセスメントシートは使用していたが、より細やかなアセスメントシートが必要(令和6年度後半から細かいアセスメントシートを使用している)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	7		活動プログラムは週担当が行っているが、活動内容にばらつきがある。(令和7年度からは週案提出制にし活動の偏り軽減に務める) 立案回数が人によって差がある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	5	1	活動内容について、話し合いの場を設け、プログラムを増やしたり明確な目的意識を持つ必要がある。 (令和7年度からは活動内容に関しては一覧を作成し、その中から5領域や利用児の特性を意識して設定していく)
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		7	1	平日、休日の目標が明確な差別化がなされていないことが多い。 各職員が課題を意識しきれておらず、課題を設定しきることができていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4		個々に合わせて作成はしているが、各職員がアップデートしきれていない部分がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		日々、ミーティングで周知を行っている。 職員間で目的のすり合わせをし切れていないことがある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	1	日々、ミーティングで振り返りや気付いた点の共有は行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	3	1	記録の取り方に差があり、正確性に欠ける。記録の取り方について研修を行い、統一した記録の取り方を周知するべき。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4		モニタリングの機会が少ない。今まで職員にモニタリングについての周知がされていなかったため、今後モニタリングとは何かを伝えて行くこととモニタリング後の情報の周知を行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	5		基本活動は組み合わせながら行っていたが、ガイドラインの周知がされていなかった。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		今まで参加の度合いが周知されていなかった。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		学校の送迎時、直接先生に話を聞いたり、ボードやおたよりで確認できている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		主治医はアセスメントできているが、細かい部分は不明。実際に主治医と連絡をとる機会はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	相談支援事業所や保護者からの情報収集が基本となっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4		情報共有の度合いが支援員間で周知できていないことがある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	2	現場単位での認識では研修等を受けていないが、地域範囲での専門職の方の研修は受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	1	交流機会を設定することができていない、活動することはできていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	参加状況不明。現場には協議会という名称で伝えていないため認識に繋がっていない模様だが、月に1回協議会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		帰りの送迎時の保護者対応時に、普段の様子が分かるように細かく伝えたり、イメージしやすいように伝えることを心掛けている。保護者とのコミュニケーションは取れているが、課題についての理解等に繋がる程スキルが高くない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		明確な保護者支援の場は設けられていない。現場職員のペアレント・トレーニング等の意識が低いため、今後研修を行い家族支援の方法を構築していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3		伝達状況不明。契約時に運営規定、支援内容、利用負担等に関して説明し、保護者にも同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	5		職員が相談を受けた場合は管理者と相談の基対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	6	保護者からのニーズもあり、父母会は設けていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		管理者指示の基、出来る限り迅速な対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		月に1回情報誌を作成し発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		書類処理等の扱いに注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		今後より細やかな情報伝達方法が求められる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	3	招待の機会なし。 今後招待していけるような行事を計画していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	1	大まかなマニュアルはあるが、細かい物の作成や周知が必要。 各種マニュアルは作成してあるが、周知には至っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	4		避難訓練は定期的に行っているが、子供たちの特性を鑑みて回数を増やしていく必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2		虐待防止アンケートで状況確認や意識改軌が図れている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4		身体拘束が必要となった場合に保護者への説明を行っている。 契約時にも説明をして必要な場合は拘束をし、書面上にて記録をとらせていただくことを伝えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		指示書の周知があいまいになっている。 指示書は提出してもらっているが、各職員が周知しきれていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		作成しているが、周知や内容の反映があいまいになっている。 ヒヤリハットや事故報告は同法人内や事業所間でシステムを使って共有している。